

令和 6 年度 事業報告書

社会福祉法人 翠庄会

目次

1. はじめに	2
2. 基本理念	3
3. 基本方針	3
4. 事業の経営	3
5. 多機能型 かわせみの家	5
6. 共同生活援助・短期入所 楓の郷	17
7. 多機能型 あんだんて	19
8. 共同生活援助・短期入所 和っしょい	26
9. 相談支援事業所 ひまり	27

1. はじめに

令和6年4月、3年に1度の報酬改定が行われ、とくに生活介護においては基本報酬の算定ルールが大幅に変更となりました。職員間でも理解を深め、サービス提供時間を確保するために送迎時間の見直しなどを行いました。事業所を利用していただく時間をむやみに伸ばすだけでなく、質の高いサービスを提供するべく、個別支援に焦点を当てた取り組みも行いました。利用者一人ひとりの活動の成果は5年ぶりに開催した『翠庄会秋まつり』でも広く一般のお客様に披露することができました。報酬改定を見据えたサービス提供時間の確保や感染症への不安が緩んできたことで前年比の通所率もアップしており、法人全体での支援費収入は大幅に増えました。

利用者の高齢化や重度化が顕著に見られると同時にご家族も高齢となり、介護が難しくなられたり、キーパーソンが親からきょうだいに代わるケースも増えてきています。福祉資源が限られている地域性から困難に直面することもあります。住み慣れた地域で長く生活が続けられるよう、より柔軟性をもってサービスの提供を行うことが求められているように思います。法人内で事業所間の連携を行うことも増えてきています。今後の経営を安定させていくためにも現在利用してくださっている方だけではなく、庄原三次圏域で障害福祉サービスを必要とされている方の把握など、より広く動向に注目していかなければなりません。

2. 基本理念

利用者一人ひとりの自主性・個性を尊重し、尊厳をもってその人らしい自立した生活ができるよう支援します。

3. 基本方針

- (1) 利用者の人権を尊重し、個人の尊厳が守られる福祉サービスを提供します。
- (2) 利用者のプライバシー、個人情報を保護し、信頼性の高い福祉サービスを提供します。
- (3) 良質かつ安全・安心な福祉サービスを提供します。
- (4) サービスの担い手である職員の質の向上を推進します。
- (5) 利用者の日常生活において、地域住民との交流の機会を積極的に設けます。

4. 事業の経営

(1) 障害者総合支援法に基づく事業

- ・多機能型事業（生活介護・就労継続B型） かわせみの家
- ・多機能型事業（生活介護・就労継続B型） あんだんて
- ・共同生活援助・短期入所事業 楓の郷
- ・共同生活援助・短期入所事業 和っしょい
- ・相談支援事業（特定・障害児・一般） ひまり

(2) 理事会、評議員会の開催

評議員会1回、理事会4回開催しました。

日 時	出席状況	内 容
R6.6.11	理事 6 / 6	① 令和5年度事業報告、計算書類及びこれらの付

理事会	監事 1 / 2	属明細書並びに財産目録の承認について ② 令和 6 年度定時評議員会招集の決定について
R 6 .6.29 評議員会	評議員 5 / 7 監事 1 / 2	① 令和 5 年度計算書類及び財産目録の承認について
R 6 .9.26 理事会	理事 6 / 6 監事 1 / 2	① 令和 6 年度第 1 次補正収支予算(案)について
R 6 .12.6 理事会	理事 4 / 6 監事 0 / 2	① 就業規則の改正について ② 育児・介護休業規定の改正について ③ 給与規定の改正について ④ 嘱託職員規定の一部改正について ⑤ パートナー職員規定の改正について ⑥ 給与規定の一部改正について ⑦ 嘱託職員規定の一部改正について ⑧ パートナー職員規定の一部改正について ⑨ 令和 6 年度第 2 次補正収支予算(案)について
R6.3.18 理事会	理事 4 / 6 監事 2 / 2	① 令和 7 年度事業計画（案）について ② 令和 7 年度収支予算（案）について ③ 就業規則の一部改正について ④ 給与規定の一部改正について ⑤ パートナー職員規定の一部改正について ⑥ かわせみの家空調設備購入契約の締結について

(3) 広報

翠庄会だより 8 月発行

5. 多機能型（生活介護・就労継続B型）かわせみの家

生活介護

（1）利用実績

月	活動日数	延べ利用者数	実利用者数	平均利用者数
令和6年4月	22	391	20	17.8
5月	23	416	20	18.1
6月	22	389	21	17.7
7月	23	419	21	18.2
8月	23	377	21	16.4
9月	22	344	21	15.6
10月	23	421	22	18.3
11月	22	380	22	17.3
12月	23	381	21	16.6
令和7年1月	23	343	21	14.9
2月	20	349	21	17.5
3月	23	381	21	16.6

（2）事業内容

登録利用者21名にサービスを提供しました。個別の支援計画にもとづき、作業支援、余暇支援、食事や排せつ・入浴介助、散歩・ストレッチ等の活動を提供しました。報酬改定によりサービス提供時間による基本報酬額となったことに加え、送迎時間に家族が不在との理由で延長利用を希望されるニーズも増えており、受け入れ時間を早めたり延長することもありました。支援費は前年比1420万あまりの増収となりました。

ひだまり・食堂スペースでは障害程度の軽い方が下請作業やひだまりカフェを中心に活動を組み立てました。季節の創作と合わせて四季を感じられる和やかな空間となっており、利用者も自分の役割に慣れ意欲的に参加しています。また、重度の利用者については音楽を流したり、少人数グループの中で一緒に過ごす時間をつくることなど自宅では味わえない刺激を楽しんでいただけるようにしています。

虹の部屋ではストレッチや室内ウォーキングなどの軽い運動やアクセサリ作り、手先を使った雑巾縫いや創作などの活動を行いました。

6月から新規の利用者が1名増えました。

利用者の高齢化が進むとともに心身機能が変化している方が増えています。医療機関や理学療法士の意見を参考に全職員で情報共有し家族にもお知らせしています。また、こだわりの強さや家庭環境の変化による不安定さから支援拒否をされる利用者も数名いますが、気持ちに寄り添いながら「待つ」ことや職員間連携により気持ちを切り替えていただくことを徹底しており、全体的には穏やかな時間が提供できています。

今後も利用者一人ひとりが健康で通所でき、やりがいを感じられる活動や時間が増えていくことを目標に取り組んでいきます。

1) 利用定員 22名（登録者数 21名）

2) 障害支援区分 区分3・・・2名、区分4・・・3名、
区分5・・・9名、区分6・・・7名

3) 日課

8：30～9：45	登所（送迎車利用、徒歩）
9：50	朝の会、体操
10：00～12：00	午前の活動

12:00～13:00	給食、休憩、口腔ケア
13:00～15:00	午後の活動
15:00～	帰宅準備
15:10～ 15:30～	帰宅（送迎車利用、徒歩）

4) 休業日

日曜日、年末年始 12 月 29 日から 1 月 3 日

5) 作業収入

下請け等 932,398 円

ひだまりカフェ 157,400 円

小物づくり 142,582 円

就労継続 B 型

(1) 利用実績

月	活動日数	延べ利用者数	実利用者数	平均利用者数
令和 6 年 4 月	22	338	18	15.4
5 月	23	362	18	15.7
6 月	22	337	18	15.3
7 月	23	368	18	16.0
8 月	23	337	18	14.7
9 月	22	331	18	15.1
10 月	23	367	18	16.0

1 1 月	22	329	18	15.0
1 2 月	23	303	17	13.2
令和 7 年 1 月	23	324	18	14.1
2 月	20	310	18	15.5
3 月	23	343	18	14.9

(2) 事業内容

利用者 18 名の平均年齢は 43 歳で 30 代～40 代の利用者が全体の半分以上を占めている状況です。利用者については高齢化に伴い安全への配慮を必要とされる方が増えており、転倒予防や機械による事故を起こさないためにもきめ細かい見守り支援や助言を求められています。しかしながら、向上心やチャレンジする気持ちを表現し、自分の役割として仕事に向き合う姿に元気をもらい、利用者・職員で達成感を共有する日々を過ごせています。就労継続支援の前提である「働くとはどういうことか」をしっかりと伝え、個別支援計画に基づいた個々の目標に向けて就労支援を行っています。

就労継続 B 型利用者が比較的元気で通所して下さったことにより就労継続 B 型の支援費も 400 万あまりの増額となりました。

令和 6 年度は専門機関に細菌検査を依頼し適切な賞味期限を設定した他、保健所に出向いて営業許可申請や食品ラベルについてご指南いただいたり、適切な原材料管理について見直しを行うなど、より一層よいものを届けるために意識改革を行った一年となりました。

平均工賃は昨年と同水準に止まりました。物価の高騰や消費税など支出が膨らみがちですが、利用者工賃を上げるという目標のもと今後も売り上げ増を目指していきます。

1) 利用定員 18 名（登録者数 18 名）

2) 障害支援区分 区分 2・・・3 名、区分 3・・・7 名

区分 4・・・6 名、区分 5・・・1 名、 区分なし・・・1 名

3) 日課

9：00～10：00	登所（送迎車利用、徒歩、自家用車）
9：50	朝の会、体操
10：00～12：00	午前の作業
12：00～13：00	給食、休憩
13：00～15：00	午後の作業
15：00～	帰宅準備
15：10～ 15：30～	帰宅（送迎車利用、徒歩、自家用車）

4) 休業日

日曜日、年末年始 12 月 29 日から 1 月 3 日

5) 作業収入

食品部門 6,451,313 円

新しくパンの担当職員が加わり常勤 2 名で作業に関われることになりました。複数の関わりで利用者の強みを見つけることができるようになり、新たな作業にチャレンジする機会を取り入れるなど支援を深めることができました。また、これまでパンの職員が長時間労働となる課題が続いておりましたが、通常の 8 時間の出勤時間で作業が回せるようになり、働き方の改善にも成功しました。

夢舎夢舎のお菓子は広島市内のふれあいプラザから年間を通じて月 2～3 回のペースで注文が来るようになり、売り上げも順調に伸びています。既存の取引先からの注文も安定しており、忙しく作業をしておりますが、利用者も慣れた様子で熱

心に作業に取り組んでいます。

専門機関で細菌検査を行い、適正な賞味期限・消費期限の設定を行いました。これまで以上に安心して手に取っていただける商品を提供できるようになりました。

庄原市役所・西城しあわせ館の販売もコロナ前のスタイルに戻すことができました。また、秋祭りや高地区のふるさとまつりでは地元のお客さんにかわせみの家の商品を広くアピールすることができました。

生産・請負部門 239,674 円

下請作業は利用者間の自己組織化が進み、生き生きと作業に関わることができています。外作業との兼ね合いで作業量を調整できることに加え、企業様より効率的に作業が行える治具を提供していただいたことにより、これまで以上に多くの利用者が作業に関われるようになりました。

活動内容：下請け作業・・・部品カット、検品

印刷事業・・・ラベル作成

野菜・唐辛子・乾燥野菜部門 522,039 円

唐辛子の栽培が5年目に入り定着してきたことに加え、一味唐辛子やゆず唐辛子は市役所やしあわせ館、ふれ愛プラザで販売し、継続して注文を頂けるようになりました。

乾燥野菜の作業については“室内でできる”“座ってできる”作業として関われる利用者が多いというメリットがあり、今後の利用者の働き方を想定した場合に主力として伸ばしていきたい分野であり、今後も高単価商材として力を入れていきたいと考えております。

施設外支援 657,785 円

市内の高齢者施設の清掃は一般就労を目指す利用者が週3回通っています。休まず仕事に向かうために就労・生活の両面から根気強くサポートを行いました。就労先や関係機関との連携も細やかにとり、定期的にケース会議も行いました。施設外就労を行える場を提供していただけることに感謝し、今後も新たな利用者が関われるようにしていきます。

健康管理

毎月	健康チェック BMI は年2回	利用者全員	
8月～9月	利用者健康診断(希望者のみ) 西城市民病院	17名 1名は歯科のみ	
10月	往診 西城市民病院より来所	生活介護 16名	
11月	インフルエンザ予防接種 西城市民病院より来所	利用者 22名 職員 16名	

3月予定だった往診(2回目)は、西城市民病院の都合により4月に延期となりました。

○利用者・職員の病気やけがについて

- ・救急搬送：秋まつりにて、利用者意識消失あり

庄原赤十字病院に救急搬送し、当日帰宅される

- ・転倒：2月凍結による転倒、同日に職員2名 庄原赤十字病院を受診する

- ・感染症：GHにて4月と12月にコロナ陽性者

4月・・・利用者1名

12月・・・利用者2名、職員1名

かわせみにて

9月・・・コロナ 職員6名、利用者1名

溶連菌感染症 利用者3名

○今年度の課題と次年度に向けて

感染症についてはマニュアルに従い、予防や対策を徹底してきましたが、事業所内で陽性者が1名確認された時点ではかなり感染が広がっていました。感染が拡大した原因の精査と細やかな情報伝達により一層の情報共有をしていきます。

夏期の熱中症対策、冬期の嘔吐下痢対策など必要に応じて職員研修などでマニュアルについて情報共有を行いました。

職員体制・職員研修

1) 職員体制

省令に定める「置くべき従業者及びその員数」を満たし、運営規定に定めた員数を配置しました。

2) 職員研修

月	研修内容	実施日
4	新年度オリエンテーション	4月10日(水)
4	利用者のけいれん発作について	4月24日(水)
5	安全な介助技術	5月8日(水)
6	口腔ケアについて	6月12日(水)
6	避難確保計画	6月14日(金)
6	簡単な手話講座	6月19日(水)
7	災害を考える(想定外は起きる)	7月11日(木)

7	AED 講習会	7 月 18 日 (木)
7	令和 5 年度会計報告	7 月 24 日(水)
8	ちょっと待って！その支援不適切じゃないですか？	8 月 20 日(火)
8	課題と問題点の違い(目標工賃について)	8 月 28 日(水)
9	安全運転・送迎について	9 月 18 日 (水)
11	防犯対策	11 月 11 日(月)
11	感染対策(ノロウイルスセットの確認)	11 月 20 日(水)
11	対人援助技術①アンガーマネジメント	11 月 27 日(水)
12	対人援助技術②言い換えコミュニケーション	12 月 11 日(水)
12	交通安全講習(改正道路交通法)	12 月 13 日(金)
12	虐待防止について	12 月 18 日(水)
1	発達障害について	1 月 21 日(火)
2	社会福祉法人会計	2 月 12 日 (水)
2	AED 講習	2 月 19 日 (水)
2	意思決定支援	2 月 26 日(水)
3	各委員会振り返り	3 月 12 日 (水)
3	令和 6 年度振り返り	3 月 26 日 (水)

給食

利用者・職員合わせて平均で 1 日 40 食の給食を提供しています。

タンパク質、脂質の摂取量を 1 日当たり 1／3、カルシウム、鉄、ビタミン C は 1／2 を目標量として献立を作成しています。また、温度管理や衛生管理を徹底し、

1 年を通じて食中毒予防に努めました。

利用者の重度化、高齢化によって、食事形態の大きな変化はないものの、より小さく刻んだ刻み食を提供するなど個別にこまやかな対応をしています。また、アレルギー対応について、アレルギーの原因食物を除去すればいいというのではなく、原材料や調味料に入っているということも分かり、これまで以上にアレルギー対応について知識を得ていかなければならないという経験もしました。給食提供のニーズは多様化している面もありますので調理に関わる職員で情報を共有するとともに看護職員や支援員とも連携をとって対応していきます。

物価の高騰はおさまりませんが、地元の農家さんから野菜を提供していただいたり畑で収穫した野菜を利用しながら提供を続けています。利用者のリクエストメニューなど喜んでいただける給食を長く続けていけるよう工夫していきます。

地域活動

※高地区ふるさとまつり 令和 6 年 11 月 3 日（日）

※高小学校との交流

ふれあい集会 令和 6 年 6 月 14 日（金）

年間行事

6	高小学校ふれあい集会	6 月 14 日（金）
6	親睦旅行(みろくの里)	6 月 28 日(金)
7	伍楽荘ボウリング大会	7 月 11 日（木） 7 月 12 日（金）
9	クリーンキャンペーン	9 月 28 日（土）
10	翠庄会秋まつり	10 月 12 日(土)

10	庄原特別支援学校保護者会見学会	10月16日(水)
10	連絡協議会スポーツ交流会	10月22日(火)
11	技能祭	11月3日(金)
11	高ふるさとまつり	11月3日(日)
12	庄原市役所庁舎販売～就労支援部会～	12月3日(火)
12	わくわく忘年会	12月26日(木)
12	KOKORO 夢舎夢舎お楽しみ会	12月27日(金)
12	ぱるぱる忘年会	12月27日(金)
1	とんど	1月11日(土)
3	合同スポーツ大会	3月21日(金)
3	クリーンキャンペーン	3月31日(月)

地域生活支援事業

日中一時支援

障害者等の日中における活動の場を確保し、障害者等の家族の就労支援及び障害者等を日常的に介護している家族の一時的な休息を目的としている事業です。生活介護や就労継続支援 B 型のサービス日数を超える土曜日に利用されています。現在の登録者は 31 名ですが、実際にサービスを利用されている方は 1 日平均 15 名程度です。キーパーソンが両親からきょうだいに変わったことによりこれまで利用されていなかった方が毎週利用されるケースもあり、ニーズは増えてくると思われます。

学校の長期休みに利用されている生徒さんが 2 人おられます(高校生 1 人、小学生 1 人)。利用終了から次の利用までに間が空くので、再利用時には保護者と連絡を取り支援内容に変更がないか確認をしています。

活動内容としてはレクやカラオケ、ドライブなどゆったりした活動を提供しています。また、音楽を聴いたりテレビを見たり塗り絵をするような個別で活動する時間も多く取れるようにしています。

その他

① 広報 HP 更新

機関紙 かわせみ通信 年 4 回

② 見学実習の受け入れ

- ・ 庄原特別支援学校見学
- ・ 庄原中学校職場体験

③ 施設管理

- ・ 消防訓練 年 2 回 (9 月 3 月)
- ・ 消防設備点検
- ・ 車両点検 毎朝

④ 求人活動

福祉の就職総合フェア 広島市 8 月 10 日

いきいき働く協議会 庄原市 10 月 18 日

庄原さくら学園・翠庄会 合同求職説明会 10 月 24 日

福祉の就職総合フェア 広島市 3 月 15 日

6. 共同生活援助・短期入所 楓の郷

共同生活 定員 6 名 短期入所 定員 1 名

4 月 1 日、新規の入居者がありました。障害区分も高くこだわりが強いため
集団生活に順応できるか心配があり、入居前から世話人会議を行い情報共有を
行いました。結果的にはトラブルもなく安定した日々が過ごせた 1 年でした。

4 月と 12 月に入居者でコロナ陽性者が確認された際は 5 日間の自室生活を願
いしました。特に混乱もなく落ち着いて生活していただきましたが、活動が制限され
るため表情が乏しくなったり、反応が鈍くなる方もおられました。

利用者 1 名が転倒により足を骨折され 3 か月の入院となりました。昨年度から転倒
を繰り返されている方で気を付けてはいましたが、自室で転倒されていました。

6 人の利用者のうち 5 人が自宅に帰ることなく 365 日楓の郷で過ごされることも
あり、行事の企画に力を入れ、利用者・職員が一緒に楽しむことができました。

また、今年度も世話人会議や夜間想定訓練を行うとともに、かわせみの家での A E
D 講習会に宿直に関わる世話人に参加していただき、非常時に備えた活発な意見交流
を行うことができました。

行事

4	カープ観戦	4 月 19 日（金）
4	サーティーワンへ行こう	4 月 21 日（日）
5	外食～ドライブインミッキー～	5 月 28 日（火）
7	和っしょいと合同 B B Q	7 月 15 日（月・祝）
8	高地区盆踊り	8 月 13 日（火）
10	総領おいでん祭に行こう	10 月 13 日（日）

1 0	比和やまびこ祭に行こう	10 月 20 日(日)
1 0	夜間想定訓練	10 月 30 日(水)
12	クリスマス会	12 月 23 日 (月)

楓の郷職員会議 4 月 7 月 10 月 12 月 2 月(A E D講習会)

7. 多機能型（生活介護・就労継続B型）あんだんて（定員 20 名）

生活介護

（1）利用実績

月	活動日数	延べ利用者数	実利用者数	平均利用者数
4 月	22	175	10	7.9
5 月	23	182	10	7.9
6 月	22	182	11	8.2
7 月	23	193	11	8.3
8 月	23	175	10	7.6
9 月	22	178	10	8.0
10 月	23	188	10	8.1
11 月	22	175	10	7.9
12 月	20	147	10	7.3
令和 7 年 1 月	23	179	10	7.7
2 月	21	154	10	7.3
3 月	23	184	10	8

（2）事業内容

支援については個別支援計画を充実させるために、利用者、家族の聞き取りを大切にし、個別支援会議を繰り返し行い利用者の強みを生かせるような活動になるよう取り組みました。活動内容としては、利用者のニーズに応じて散歩、レクリエーション、個別リハビリ、個別の活動などを提供しました。

利用者の身体機能の著しい低下に伴い、本人、家族、相談支援専門員、外部関係機関と会議を行い、各専門分野での今後の取り組みなどを検討しあう機会に参加す

ることが増えています。

また、あんだんての環境整備、下請け作業にも参加しながら、やりがいを持てるような活動も提供しています。

行事においては、お花見、運動会、クリスマス会、節分行事、かわせみの家とのスポーツ交流会など開催をしました。

- 1) 利用定員 10 名（登録者数 10 名）
- 2) 障害支援区分 区分４・・・３名、区分５・・・３名
区分６・・・４名

3) 日課

8：40～9：15	登所（徒歩、送迎車）
9：30～	朝の会、体操
10：00～12：00	午前の活動（散歩・リハビリ・個別活動・野外活動等）
12：00～13：00	給食、休憩、口腔ケア
13：00～15：00	午後の活動（散歩・創作活動等）
15：00～	帰宅準備
15：10～15：30	送迎（帰宅）

4) 休業日

日曜日、年末年始 12 月 29 日から 1 月 3 日

5) 作業収入

はたき 22,602 円

環境整備等 26,900 円

就労継続B型

(1) 利用実績

月	活動日数	延べ利用者数	実利用者数	平均利用者数
4月	22	217	12	9.8
5月	23	230	12	10
6月	22	219	12	9.9
7月	23	226	12	9.8
8月	23	218	12	9.4
9月	22	200	12	9.0
10月	23	211	12	9.1
11月	22	197	11	8.9
12月	20	164	11	8.2
令和5年 1月	23	208	11	9.0
2月	20	181	11	9.0
3月	23	209	11	9.0

(2) 事業内容

障害特性の強い利用者や精神疾患のある利用者の利用もあり、利用者平均区分が高めな中、個別支援計画に基づき利用者が役割を感じながら小グループでの作業に係れるよう工夫をしています。

個々の働く意欲の内容を把握していく中で、「将来〇〇みたいに働きたい（活動したい）」という希望が少しずつ実現できるように、日々の活動の中でレベルアップできる事、心が潤っていくような活動ができるように支援しました。

下請作業においては安定して受注しております。

作業に携わる利用者を当初は固定していましたが、6年度は作業工程を細分化し携

る利用者を増やし、完成までのスピード、確実性を高めていきました。

また、外部の企業より農福連携の外部就労に取り組みました。

1) 利用定員 10 名（登録者数 12 名）

2) 障害支援区分 区分 1・・・1 名、区分 2・・・4 名、
区分 3・・・3 名、区分 4・・・2 名 区分なし・・・2 名

3) 日課

8：30～9：15	登所（徒歩、送迎車）
9：00～	朝の会、体操、作業開始
9：00～12：00	午前の作業
12：00～13：00	給食、休憩
13：00～15：00	午後の作業
15：00～	帰宅準備
15：10～ 15：30～	帰宅（徒歩、送迎車）

4) 休業日

日曜日、年末年始 12 月 29 日から 1 月 3 日

5) 作業収入

食品部門（お菓子） 1,068,313 円

各方面からのイベント参加要請などあり、10 月から 11 月にかけてはとても忙しい日々を過ごしました。

近年の物価高騰に伴い販売価格の見直しをおこないました。

食品部門（味噌） 125,500 円

地域の休耕地を活用して大豆の栽培が軌道にのり、味噌づくりの販売許可も受けることができ、販売を開始しました。

今後販売方法などの開拓が必要となってきます。

農耕部門 193,642 円

近年の夏の猛烈な気温で体調不良を起こさないよう、植え付け、収穫時期の工夫を行いました。

また、販売価格の見直しなどを適時おこなっています。

下請け部門 1,131,825 円

令和6年度は様々な下請け作業を行いました。

地元の企業からの依頼で食器洗浄機の部品の組み立て作業はコンスタントな受注があり利用者也意欲的に取り組んでいます。

ある程度固定化した中で作業を進めていましたが、作業を細分化し携わる利用者を増やすことで利用者のやる気にもつながり、自分も参加しているという作業意欲の向上につながりました。

アルミ缶回収 93,940 円

地域の方などからの直接搬入、保護者・かわせみの家からの搬入などで多くのアルミ缶を集めることができました。また、潰す作業もないため手間をかけずに収入を得ることができました。

農副連携外部就労 235,148 円

新たにワイン制作会社へ外部就労の作業提供を開始しました。

先方企業と定着に向けて時間をかけて、利用者の作業能力に応じた作業内容の確立をしました。

主にブドウの苗木の剪定、収穫、ワイン瓶のラベル貼り、箱詰めなど一年を通して作業に携わらせていただきました。

健康管理

利用者・職員の健康維持のため、生活介護の利用者は嘱託医である西城病院の郷力院長の往診を受け、施設内では毎月健康チェックを行い健康管理に努めました。

職員については庄原赤十字病院、西城市民病院において、健康診断を行い、結果表により看護師より指導・助言等を行っていききました。

また、新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたとはいえ、日々利用者の健康状態の把握に努め、室温、換気、検温、表情の確認をもとに変化がある場合、家族との連携をとり早期対応をしました。

12月には新型コロナウイルス感染症のクラスターも発生し、3日間の休所をせざるを得ませんでしたが、みなさん軽症で早期再開ができました。

☆救急搬送

1月に利用者が嘔吐、その後呼吸困難となり酸素状態が一時的に低下し救急搬送しましたが、早期に回復しました。

職員体制・職員研修

(1) 職員体制

省令に定める「置くべき従業者及びその員数」を満たし、運営規定に定めた員数を配置しました。(各事業の運営規程に記載)

(2) 職員研修

月	研修内容	実施日
4月	感染対策研修	4月1日(月)
5月	感染対策研修	5月27日(月)

6 月	安全対策研修（福祉車両）	6 月 24 日（月）
7 月	うっかり事故の危険度診断	7 月 19 日（金）
8 月	災害対策研修	8 月 27 日（火）
9 月	精神障害研修	9 月 3 日（火）
11 月	権利擁護、虐待防止研修	11 月 28 日（木）
12 月	発達障害研修	12 月 4 日（水）
3 月	次年度に向けて	3 月 31 日（月）

給食

食材はヨシケイで仕入れ献立に就労継続 B 型で収穫した野菜など買い上げアレンジを加えながら作成しました。

温度管理や衛生管理を徹底し 1 年を通じて食中毒予防に努めました。

利用者の状況に応じて、刻み食やトロミ対応を行っていました。

地域活動

地域のイベントに参加させていただきました。

また、クリーンキャンペーンとして散歩などでいつも渡る橋の草取り作業を行いました。

地域生活支援事業

日中一時支援

障害児（者）を介護している家族の介護負担軽減等を目的としたこの事業では障害福祉サービス外で利用希望のある方または、休所にあたる土曜日を中心にレクリエーション、創作活動、見守り等を行いました。

8. 共同生活援助・短期入所（和っしょい）

利用者が自立を目指し、地域において共同して日常生活を送ることができるよう、利用者の意思及び人格と利用者・家族の意向を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービスを提供しました。

令和6年度においては、入居者の家族の死去があり、関係機関と連絡を取り合いながら、親亡き後の手続き等を行いました。

季節の行事として餅つきやうどん作り、お好み焼きパーティー、外食など利用者の声を聞きながら実施いたしました。

また、地域で総領おいでん祭が盛大に開催され、入居者と職員で参加しました。

10月に1名の入居者の退所がありました。また、11月には新規入居者の入居が決まり定員に隙間のない利用が継続されています。

地域の行事にも参加し、清掃作業、グランドゴルフ大会、焼き肉交流会などにも参加させていただきました。

相談支援事業所 ひまり

(1) 指定特定相談支援及び指定障害児相談支援、指定一般相談支援事業について

相談支援事業所ひまりにおいて、指定特定相談支援及び指定障害児相談支援として、障害児者が望む自立した社会生活を支えることを目的とし、抱える課題の解決を行い、本人に合った適切なサービスが提供されているか、他に課題はないか定期的なモニタリングを行いました。

指定特定相談支援事業及び指定障害児相談支援事業の契約者は令和7年3月時点で79名(者62名・児17名)です。令和6年度は5名(者2名・児3名)が契約終了、児童5名の新規契約がありました。終了の理由は施設入所を機に相談支援事業所が変更したこと、グループホーム退去により他市へ転居したためです。児童については就学のタイミングでサービス利用の必要性が無くなったことが理由となります。

指定一般相談支援事業(地域移行・地域定着支援)についてはサービス提供がありませんでした。

【特定相談支援・障害児相談支援 計画相談請求件数】

契約者 計画相談	庄原市	三次市	児童	計
計画作成	41	16	18	75
モニタリング	102	36	31	169
その他加算	38	16	9	63
計	181	68	58	307

(2) 障害者相談支援事業(委託)について

障害児者からの相談に応じ、必要な情報提供や障害福祉サービスの利用支援、権利擁護のために必要な援助等を行いました。具体的な内容としては施設見学への同行、グループホーム入退去に関する支援、就労に関する相談、発達障害児を複数人育てている多子世帯へのサポート、相続、包括的支援が必要な家庭についてのケース会議、病院・訪問看護との連携、居場所探しについて面談などを行いました。

【障害者相談支援事業(委託)の実績報告】

月	実人員	対象	身体	重症心身	知的	精神	発達	うち新規相談
4月	15	者	1	1	3	4		
		児	1	1			4	1
5月	22	者	1	2	10	4		2
		児					5	1
6月	16	者	1	1	8	2		
		児		1			3	1
7月	25	者	1	4	9	6		2
		児		1			4	
8月	18	者	1	3	6	5		1
		児		1			2	
9月	21	者	2	3	6	3		
		児	1	1			5	
10月	15	者		1	5	6		1
		児		1			2	
11月	16	者	1	2	7	3		
		児	1	1			1	
12月	22	者	1	2	10	4		
		児	1	1			3	1
令和7年 1月	26	者		4	11	4		
		児			1		6	3
2月	21	者		3	9	1		
		児	1				7	
3月	21	者		2	9	2		
		児	1	1			6	

【相談支援を行った件数】

	件数	対象	身体	重症心身	知的	精神	発達
相談	1,105	者	166	123	561	252	3
	308	児	56	47	1	0	204
計	1,413		222	170	562	252	207

(3) 関係機関との連携及び地域課題への取り組みについて

庄原市障害者支援協議会相談支援部会に参加し、事例提供や情報交換・情報共有を行いました。相談部会ではテーマに沿った研修も定期的に設けており、令和6年は清風会による施設案内や、広島市・広島県 手をつなぐ育成会によるサポートファイルについての学習会がありました。また、相談部会の輪番制により精神障害者地域生活支援実務者連絡会にも出席をし、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた各機関の取組状況などについて意見交換を行いました。

(4) 職員体制について

令和7年度からの相談支援専門員増員に向けて職員1名が研修を修了しています。

